

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-6 千代田区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。

これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問していきます。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。旧自治省

(現 総務省) がつくったコード番号表です。旧江戸城=皇居や官庁街の霞が関のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。

取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。

メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

[千代田区役所] 千代田区九段南 1-2-1

最寄駅 新宿線 九段下駅

千代田区は 1947 年 3 月麹町区と神田区が合併して誕生。区名は江戸城の別名 千代田城にちなみ、区域は昔の江戸城の外郭にほぼ一致すること。中央に皇居(江戸城)、西部は武蔵野台地(麹町台、駿河台)、日比谷は家康の天下普請で埋め立てた場所とのこと。徳川幕府の本拠地で政治の中心となり、明治新政府が江戸城前の大名屋敷に官庁街を開設、首都機能東京を置きました。海と川の河口を利用した水運による流通の中心機能も持ちました。現在の千代田区丸の内が 1891 年に三菱に払い下げられ、政府機関などに隣接するオフィス街が建設されると経済面でも中心機能を果たし、大手企業の本社機能が集結して、日本の心臓部となりました。写真右は 2007 年 2 月竣工の九段第 3 合同庁舎(設計者は清水建設他)で、千代田区役所は 1F~10F に入居して



います。11F～23Fには中央官庁の出先機関が入居しています。

千代田区1丁目1番1号は皇居の住所です。本籍は住所とは関係なく自由に登録できるので、一番人気の本籍とのことで、登録した人の本籍地は千代田区となります。

地下鉄九段下駅出口6を上り、九段下の交差点手前を左折、内堀通りを行くと、千代田区役所の玄関です。ガードマンに食堂に行くことと告げ、エレベーターで10Fへ行きます。



[10F 食堂・喫茶室]

左折して、突き当りの右側が食堂入口、左側が喫茶室入口です。中は同じ部屋です。営業時間は食堂・喫茶室のランチ 11時～14時30分。喫茶室は朝食 8時～11時、喫茶 14時～17時、夕食 17時～20時の営業もしています。北の丸公園を眼下に見ながらの食事です。



写真上左は常連風の奥様のおすすめの日替わり弁当 450円。

写真上右は店長のおすすめと表示のブリの照り焼き 550円、岩手県大槌グルメフェア開催（3日間）で、ブリは大槌町直送で特製白鮭の粕汁のサービス（数量限定）

この他の食堂のメニューは洋・中華定食・丼 500円、スパゲッティ 470円、ラーメン 370円、そば・うどん 300～370円です。カレー400円は喫茶室のメニューです。

区役所でもらった「千代田あるき地図 マップ&ガイド」によると千代田区は「皇居周辺」、「丸の内・有楽町・日比谷」、「番町・麴町・永田町」、「秋葉原・神田」、「御茶ノ水・神保町」、「飯田橋・九段」の6地域に分かれています。いずれも歴史や文化が楽しめる場所が沢山あり、寅次郎の好きな地域の一つで、「寅さん歩」で、多くの場所に足を運んでいます。

「寅さん歩」の千代田区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京十社の初詣：03、04、東京の桜 2013：08、東京発祥之地めぐり：16、176

東京の富士塚めぐり：28、健康ご利益めぐり：58、東京にこんなところ：189

江戸・東京の祭：70、71、75、77、90、92、96、99、110、121

花の祭：78、84、88、89、96、新しい祭：162、163、東京の桜：206
東京の紅葉・黄葉：82、83、108、197、江戸・東京（23区）の百名山：141
東京の学食めぐり：200、201、203、207、208
官公庁の食堂めぐり：233・235・237、238

千代田区の木は「まつ」、花は「さくら」、鳥は「はくちょう」です。



【バーチャルウォーク 途中経過】

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から10月28日鹿児島県鹿児島市、11月20日宮崎県都城市に入り、宮崎市を経て12月31日宮崎県日向市と延岡市の間で新年を迎えました。

2019年1月11日現在、スタートから358km地点を通過し、大分県大分市に向かっています。

ウォーキングでは自然や人との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲で紹介します。

【寅次郎がウォーキングで出会った人-5】

～寅次郎を初めての海外ウォークに連れて行ってくれた人～



その人は和澤 潔さん（左の写真の最前列でカメラをぶら下げています）右端は寅次郎で和澤さんは寅次郎よりひと回り歳が上です。会員番号は270番ですので1997年10月会員制のFWA発足後、すぐに入会されています。（会員制発足時の1997年末の会員数は174名）

話題が多かった方で若いころから山登りで培ったバイタリティを持った元気者です。

FWAホームページ立ち上げの一人で、パソコンとカメラを駆使してレポートを書き、ひろばの「アーカイブス」に名前を連ねています。

BOSCH日本法人（ドイツの車部品関連）に勤務していたとか（スタッフ間ではどこに勤務し、何をしていた等の職歴は話題にしないので詳細は不明）で愛車はベンツ、寅次郎、河口湖や南房総のウォーキング大会には藤沢から載せていただきました。

FWA「ゆっくりウォーク」の提唱者の一人で
2004年完成の「カタツムリの旗」は山で知り合い、
結ばれた奥様のデザインで共同作品とのこと。
寅次郎を驚かせたのは60歳代後半から始めたとい



いう「弁理士資格」取得への挑戦です。
自宅の藤沢市善行から夜に東京神田の学校に通い、
勉強していました。「大変ですね」とねぎらうと、
「若い人と一緒に若返るよ。この歳で資格が取れたらギネスものだ」と笑って
いました。歳がひと回りも違う寅次郎に対しては「自分の資格取得と、君の
会社生活卒業のどちらが早いかな競争しよう」と資格取得に闘志を燃やしてい
ました。

また、ドイツ会話が出来る和澤さんは「スタッフ有志で毎年オランダで開催
の世界最大のウォーキング大会 国際フォーデーズ マーチに参加したい」
との夢を持っていました。寅次郎のウォーキングの最終目標も「世界を歩く
こと」でしたので、是非、一緒にと約束しました。

2006年、和澤さんをリーダーに総勢9名（内スタッフ8名）のFWA会員
有志で7月16日～7月26日の9泊11日の海外ウォークツアーが実現しま
した。当時会長の寅次郎、スタッフになると他の大会に参加出来なくなると
の声の対策として、スタッフ数を増員していました。残ったスタッフには
迷惑をかけましたが、不在中のFWA例会の実施に支障はきたさなかったと
のこと。第90回大会で世界から多くの参加者が予想されるため日本からの
参加枠は約200名となったそうで、大会参加申し込みは日通旅行にお願いし、
それ以外は自分達で行いました。

開催地のオランダ ナインメーヘンのホテルは旅行社
に抑えられ予約できず、ドイツ クレーベのホテルを
日本からパソコンで予約する初体験でした。



クレーベからはタクシーで国境を越え、約30分
会場に行けます。クレーベには寅次郎の勤務していた
会社の工場が新設されているのは知っていましたが、
朝ホテルの窓から工場の看板が見えたのには驚きました。

早朝の散歩で早速、工場正門前まで歩きました。

大会終了後のドイツ・スイスの観光は和澤さんが立案しました。スイスでは写真
上の風景を見ながら散歩もしました。ホテルはツインのシングル使用や各地では
日本人の観光ガイド付の豪華な旅でした。

年間で一番気候の良い時期の大会開催（7月18日～21日）にもかかわらず、
アイガーの氷河も融ける世界的な異常気象の到来で第一日目、暑さによる死者や
倒れる人が続出し、四日間の大会は一日で中止となるハプニングがありました。
参加の日本人は全員問題なく、高温高湿の夏に鍛えられた日本人の強さを知り

ました。観光予定までの三日間は手慣れたもので、自らでコースを作り、ナイン
メーヘン市内の公園めぐりのゴミ拾いウォークではゴミ収集車の移民の青年に
「俺たちの仕事を取らないで欲しい！」と言われたり、465 段の階段を上るドム
教会のドム塔ウォーク、運河めぐりウォークの F W A ミニ特別例会でした。

スイスでは和澤さん、長津さんとレストランの夕食
に行き、肉の定食を食べ終え、チーズフォンデュ

(写真右) を追加した和澤さんの旺盛な食欲には、
当時は大食いの寅次郎を驚かせました。



観光の最終日のドイツ エスリンゲンでは和澤さんの
友人ご夫妻から、古城レストランでのディナーに招か
れ、素晴らしい夜を過ごしました。

(冒頭の写真は古城レストランの庭での撮影で、8 人写っていますが、撮影者は
メンバーの西澤久裕さんで、和澤さんの隣の女性は西澤夫人です)

翌年の 2007 年 7 月の第 91 回大会には優先的に参加できるとの大会本部からの連
絡で参加を楽しみにしていた和澤さんでしたが病魔には克てず、2007 年 5 月 7 日
76 歳の志半ばで、逝ってしまいました。5 月開催の東京でのウォーキング大会に
参加申し込みしていた和澤さんですが、病気を察知したそうで、一人で歩いて
市民病院に行き、入院・手術したという医師を驚かせた逸話を最後まで残された
生涯現役の人でした(寅次郎の知らない話題はまだまだあるかと思いますが・・・)

2007 年 7 月寅次郎、和澤さんの写真をリュックに入れ、今度は個人で日通旅行の
大会参加ツアーに申込み、参加しました。大会運営は前年の反省を活かした暑さ
対策(給水ポイント増、コース上の気温他の表示等)や参加者へ暑さに対応の事
前周知(1 時間ごとの水分補給・朝食をしっかり取る、アルコールはダメ、帽子を
かぶる等)が行われ、無事 4 日間(120Km)を和澤さんと一緒に完歩出来ました。

この文を書いている、和澤さんの年齢(76 歳)に届いていることに気付いた
寅次郎でした。今までは一回りも年上の人だと思っていましたが・・・
ご存命ならば 88 歳、まだまだ若いものに負けないと、寅次郎と一緒にバーチャル
ウォークで聖火を運ぶ仲間の一人だと思います。

次回は **バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー5** です。

平野 寅次郎 拝